

平成 3 1 年 3 月

伊東市議会 3 月定例会

一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

一 般 質 問 順 序

1 佐 山 正 君

(3月6日(水) 10時～10時50分)

2 青 木 敬 博 君

(3月6日(水) 11時～11時50分)

3 四 宮 和 彦 君

(3月6日(水) 13時～13時50分)

4 佐 藤 龍 彦 君

(3月6日(水) 14時～14時50分)

5 犬 飼 このり 君

(3月6日(水) 15時～15時50分)

6 重 岡 秀 子 君

(3月7日(木) 10時～10時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 山 正

- 1 観光スポットの魅力向上策に関し、以下4点伺う。
 - (1) 一碧湖の周辺では、飲食店や土産物店の廃業、貸しボート業者の撤退などが相次ぎ、観光スポットとしての魅力低下が懸念されているが、この現状をどのように把握し、どのように考えているか伺うとともに、今後の観光振興を図るため、行政、地域及び事業者等が一体となって、一碧湖畔の景観整備や活性化に向けた協議をしていく必要があると考えるが、いかがか。
 - (2) 汐吹海岸では、平成19年から汐吹公園の整備が進められ、魅力の向上が図られてきたが、台風の被害等により手すりが破損しており、安全性や利便性が懸念され、観光スポットとしての魅力にも影響が心配されることから、市としてどのような対策を講じることができるか、考えを伺う。
 - (3) 吉田地久保の森に観光トイレが整備されてから2年が経過したが、トイレ周辺などにごみが散乱しており、また、車で国道から出入りする際の安全性にも懸念が持たれていることから、地久保の森を快適で安全に利用してもらえるよう、これらの問題を早急に解決する必要があると考えるが、いかがか。
 - (4) 小室山公園には恐竜広場が整備されているが、広場までの案内表示が目立つ場所に設置されていないことから、利用者の利便性の向上を図るために、新たに設置場所を検討すべきと考えるが、いかがか。

2 地域医療の充実が叫ばれる中、厚生労働省の2024年に必要とされる医師数に係る推計結果において、全国的に医師不足が見込まれることが明らかになり、また、看護師不足も大きな社会問題となっていることから、伊東市民病院の医師及び看護師を初めとする医療従事者について、必要人数が確保されているか現在の状況を伺うとともに、今後の対応策及び見通しを伺う。

3 教育行政に関し、以下2点伺う。

(1) 2020年度から新学習指導要領が全面実施されることにより、5・6年生で行われていた「外国語活動」が3・4年生に移行し、5・6年生では「外国語」が教科化されることから、本市においてどのように対応するのか、具体的な指導の内容及び課題を伺う。

(2) 市内小・中学校の統廃合については、教育問題懇話会において答申として取りまとめ、教育委員会に答申書を提出しているが、市内の県立高校の再編成も進められている中で、市と県の双方が連携することは、今後のまちづくりの観点からも重要であると考えことから、現在の状況及び課題を伺うとともに、統廃合に対する考え方を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 青 木 敬 博

- 1 インバウンド施策において、今後は個人旅行客の集客が重要になると考えるが、本市の考えを伺う。

- 2 毎年実施している伊東温泉観光客実態調査では、平成29年度に初めて観光イベントの認知度に関する項目が設けられたが、そのアンケート結果をどのように分析しているか伺う。

- 3 平成29年度において、東京、神奈川などの首都圏で行った誘客のための広報活動を伺う。

- 4 市職員の長時間労働が常態化している状況があるが、AI等の導入により業務の省力化を図ることで、確保した労働力を人員が不足している部署に補填することもできると考えるが、本市の考え及び取り組み状況を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

- 1 市内県立高校の再編について、以下4点伺う。
 - (1) 伊東高校、伊東高校城ヶ崎分校、伊東商業高校の3校が2023年度をめどに統合されることとなっているが、現在までに統合に係る意見交換会は、各校の校長や幹部教諭でつくる新構想高設置準備合同部会に対し同窓会や後援会などが意見を伝えるにとどまり、本市がこれに積極的に関与している様子がないが、本市として新構想高設置に対して、どのように関わっているのか伺う。
 - (2) 県教育委員会は、ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画について、2017年11月から12月にかけて県民意見募集を行っているが、寄せられた570件の意見のうち、統合再編関連が541件あり、このうち、掛川市にある横須賀高校と、御前崎市にある池新田高校の統合に関する意見が515件と大半を占め、多くが地域の活力が失われることなどを懸念する存続要望だったとのことであるが、横須賀・池新田高校より前に統合が計画される市内3校についての意見は非常に少ないことが数字の上からうかがわれる。市民の関心が薄いとも受け取られかねない数字であるが、このような結果についてどう考えるか伺う。
 - (3) 池新田高校と統合が予定される横須賀高校がある掛川市では、地元住民らで発足した「横須賀高校を守る会」が1万400人余の署名を県と県教育委員会に提出するなど、積極的な動きが見られたのに加え、掛川市長、池新田高校の地元御前崎市長ともに、高校統合問題に対して、積極的に意見表明を行っているが、この問題に関して小野市長が積極的に意見を表明しているようには見えないことから、市内3校の統合について、市長はどうあるべきと考えるか伺う。

(4) 県立高校については、県及び県教育委員会の所管事項であるかもしれないが、どのような高校をどこに設置するかは、本市のまちづくりにも大きな影響を与える問題であり、本市の中学生や保護者、各校同窓会や後援会だけが考えればよい話ではない。まちづくりに視点を置いたときに、県立高校統合に対して、本市はどのように関与していくべきと考えるか伺う。

2 伊豆メガソーラーパーク合同会社からの2件の普通河川占用許可申請に対する不許可処分について、以下3点伺う。

(1) 議員への通知においては、2件の申請について2月13日付けで不許可処分を行ったとされるのみで、不許可の理由については特に説明がなく、その概要は報道を通じて知り得るのみであったが、不許可とした理由は何であるか伺う。

(2) 報道によれば、市長から、不許可の判断として、この事業を許可することで「市中止を求めている事業が進展することは合理的でない」との理由が説明されたとしているが、これは、同社の事業が伊東市美しい景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例に違反していることをもって「合理的でない」としているのか伺う。

(3) 本件処分については「総合的に判断し、国の『河川法等における処分の審査基準』に示された『社会経済上やむを得ないと認められる』に当たらないことを根拠に不許可とした」とのことであるが、どのような判断であったのか、「総合的判断」の内容を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 龍 彦

- 1 来年開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、本市における外国人観光客の受け入れ環境の整備について、以下3点伺う。
 - (1) 観光施設における多言語表記の案内表示の設置状況及び今後の計画について伺う。
 - (2) 英会話などを初め、多言語で対応のできるボランティアの養成を図る必要があると考えるが、いかがか。
 - (3) LGBT等の性的マイノリティーの方々が、安心して本市を訪れることができるよう、寄り添い、支援する人（A11y）を養成するために、観光施設や温泉入浴施設等の従業員を初めとして、市民向けに講座を開催する必要があると考えるが、いかがか。
- 2 子育て世帯に対する医療費負担の軽減策について、以下2点伺う。
 - (1) 子育て支援医療費助成が18歳到達後の最初の年度末までに拡充されたことにより、どのような効果があったと分析しているか伺うとともに、今後の課題を伺う。
 - (2) 中学生までの医療費の無償化について、本市の考えを伺うとともに、その影響額及び課題をどのように考えているか伺う。
- 3 学校給食費の無償化または負担軽減に対する本市の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 犬 飼 このり

- 1 市内各地に計画されている大規模太陽光発電設備設置事業に関し、次の各地区について、本市が把握している現在の状況及び本市の条例の適用を含めた事業実施に係る許認可の見通しを伺う。
 - (1) 八幡野地区
 - (2) 鎌田地区
 - (3) 十足地区
 - (4) 宇佐美地区

- 2 国連が示した持続可能な開発目標（SDGs）の推進に向けた本市の考え方及び取り組み状況を伺う。

- 3 LGBT施策に関し、先進的に取り組んでいる自治体もあることから、本市において、次の事項について、どのように施策を講じていくのか、考えを伺う。
 - (1) 同性及び事実婚カップルのパートナーシップ制度について
 - (2) 条例、要綱等の整備について
 - (3) 中学校における制服の選択について

- 4 平成30年3月定例会において質問した、実務としてドローンの操作ができる職員数について、その後の育成状況を伺うとともに、運用体制を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 前市長による不祥事を踏まえ、市民の信頼を確保するために行政のあり方を改革する必要があると考えることから、以下4点伺う。
 - (1) 職員の法令遵守意識を向上させるためには、コンプライアンス研修を行うことが有効であると考えているが、いかがか。
 - (2) 通報の窓口として弁護士などを配置した公益通報者保護制度を整備する必要があると考えるが、いかがか。
 - (3) これまでの土地取得に係る検証において、意思決定過程の協議が不明確であり、その記録が不存在であったことが問題視されたが、十分な検討及び協議記録の作成については、土地取得に限らず重点施策の立案をする上でも必要なことであると考えているが、いかがか。
 - (4) 市民に対し、親切で開かれた市役所になっているかを点検し、接遇改善のための研修をすべきと考えるが、いかがか。また、仕事に取り組む姿勢として、市民に寄り添うことを心がけて対応をすることが大切であるが、その意識を養うために、どのようなことに取り組む必要があると考えるか伺う。

2 市内で建設が計画されているメガソーラー発電所建設計画の現状及び今後の対応について、以下2点伺う。

(1) 伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設計画について、以下2点伺う。

ア 現在、県道側から進められている工事について、市が把握している状況を伺う。

イ 同工事に対して宅地造成等規制法に基づく是正指導がされたが、その後の状況について伺う。

(2) 伊東市鎌田発電所（仮称）建設計画について、伊東市美しい景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例第10条の規定に基づき届出がされているか伺う。

また、同条例において、原則として「市長が同意しない」としている事業であるにもかかわらず、市は、宅地造成等規制法に基づく許可申請を受理しているが、その見解を伺う。